

1月末組織人数
4,753人

岩手県連ホームページは
コチラからアクセス



建労いわて

発行所

岩手県建設労働組合連合会
教宣部

盛岡市本宮一丁目7番27号
電話 019-631-3280
FAX 019-635-4015
発行者 鈴木博三

岩手県連三役 県連会長 副会長3名 役員改選 新任のご挨拶

副会長



中央ブロック(北上)
高橋 豊彦

昨年、岩手県連定期大会において、県連副会長に就任した北上建設組合の高橋豊彦です。
建設業界を取り巻く情勢は厳しさを増す中で、組合の強化と活性化が大きな課題と捉えております。
全建総連(組合)は、我々職人の地位を確立して来た歴史があります。組合の原点に立ち、未来を展望した組合づくり、さらなる職人の地位向上を目指し、皆様と交流を通して再構築する事が、私の副会長としてのスタートラインと位置づけております。
「チャレンジ無くして成長無し、成長無くして発展無し」共に前進していきましょう。

会長



県北ブロック(盛岡)
大峠 勝志

昨年の県連定期大会において、県連会長に就任した大峠勝志です。私は青年部の頃から朝野球などの交流を楽しみ、組合活動に参加しました。当時は休日は月2回で、全国青協では「日曜日は休みましょう」と要求していました。現在は、週休2日制が当たり前になっていますが、私達の環境はまだまだ改善出来る事があると思います。
昨年、取り組んだ100万人請願署名は、約120万筆を集め、国会での請願採択を頂きました。この成果は私達の要求に少なからず影響をもたらしたと思っております。
この先、人口減少、担い手不足が続きますが、魅力ある建設産業を目指してみなさんと共に頑張ります。

副会長



県南ブロック(江刺)
伊藤 栄久

昨年の12月に行われた岩手県連第63回定期大会において、県連副会長に就任しました江刺建築組合の伊藤栄久と申します。
私は平成31年から江刺建築組合の組合長、岩手県連の執行委員として共済財政部に所属し、活動して来ました。
これからは県連副会長としての大役に身を引き締まる思いです。皆様へのくらしと生活を守り、諸要求を実現していく為にも、副会長としての役割を遂行し、役員の自覚を持ち、努力して行く所存です。
組合員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

副会長



県北ブロック(盛岡)
女ヶ澤 三男

昨年の岩手県連定期大会から、県連副会長を仰せつかりました盛岡建設労働組合の女ヶ澤三男です。
岩手県連の三役になった事により、諸会議に参加する事も多くなると予想されますが、県連の代表として勉強させてもらいます。
先日、新年行事に参加する機会がありました。県知事や盛岡市長などそうそうたる来賓の方々が参加されていました。その中で「私の後ろには多くの組合員がいる。後押しをしてくれる役員がいる」と思うと、自信を持って発言ができます。
これからも岩手県連の為、微力ながら頑張っていきます。皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年12月12日、13日に岩手県建設労働組合連合会の第63回定期大会が開催されました。その中で役員改選が行われ、県連会長と副会長3名が新たに就任しました。役員改選によって新任・退任された方の挨拶を1面では新任役員、2面では退任役員をそれぞれ掲載いたします。

きずな

◆組合員のみなさんには、日頃から組合の活動にご協力いただきありがとうございます。この度、教宣担当三役になった副会長の及川幸太郎です。今まで教宣部は歴代の県連会長が担当し、私は教宣部以外の専門部を担当して来ました。

◆様々な専門部担当として取り組んで感じた事です。各専門部の運動方針は、全建総連の運動方針を参考に検討し、岩手県連の運動方針案として定期大会で発表されます。運動方針案が承認されると、執行委員会が運動方針として取り組みを始める訳ですが、計画をしていた取り組みが活動出来ずに1年間経過してしまう事があります。

◆その要因の1つに各単組(特に少数組合)で、運動する予算が不足していると言う理由が考えられます。それらを1番の問題と捉えると、運動しない、動いて頂くには、全組合員に情報提供をしている「教宣部の役目」をもう少し拡大させる必要があると思います。教宣担当三役を引き受けました。組合員の皆様、日頃思っている声をぜひ教宣部にお寄せ下さい。

【県連 副会長
及川 幸太郎】

私のこだわり

宮古 宮本 勝吉さん (67)

第2弾

130

私のこだわりについて
長年継続してきた事が1番書きやすいと思うので、走る事、野球の事、健康の事を書きます。ランニングは50年、野球は57年やっており、未だ境地に至らず練習の日には朝から準備して万全を期して行きます。

膝のアーピングソックスの履き具合、アンダーシャツのフィット感、身にまとうものには細心の注意をします。メガネは微妙なずれが気になるので、特に気を使います。

万全を期して準備

走る事は健康の基本なので、体調管理をしながらこまめにコントロールし股関節と肩甲骨の可動域を確保します。すると体温が上がり、免疫力が上がると本で読んだので実行しています。

県や全国還暦野球の大会に行くと、元プロ野球投手や甲子園経験者、社会人の経験者も多くいて、気後れしないようにしています。バットはミズノで1本5万5千円ですが、悔い



私の厳選した野球道具

県連会長 副会長2名 退任の挨拶

1面(表面)に引き続き、昨年の岩手県連第63回定期大会の中で行われた役員改選により、退任された方3名のご挨拶を掲載いたします。

会長



中央ブロック (西和賀)
高橋 清一郎

平成28年12月に県連会長に就任し、昨年12月を以て4期8年努めさせて頂きました。改めて役員、組合員の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

この間、特に印象に残る事業として「東日本大震災復興支援感謝祭」があげられます。被災地の三陸沿岸を会場に、支援頂いた全国の仲間を招待してのイベントで不安を抱えての開催でしたが、組合員の絶大な協力の下で大成功。仲間の団結と底力を実感しました。

その後間もなく、新型コロナウイルス感染症が蔓延。動くことが制限され、もどかしい状況が続きましたが、昨年5月に行動制限が解除となり活動が徐々に再開となりました。

建設現場で働く職人の就労環境は、大変厳しい状況が続いておりますが、組合員の皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。岩手県連の益々の発展を祈念して退任の挨拶と致します。ありがとうございました。

副会長



中央ブロック (北上)
高館 博人

岩手県連の役員として16年間、その間2人の県連会長のもと、役員、組合員、事務局、ご家族の皆様にお力添えを頂きましての退任、感謝申し上げます。

東日本大震災では、役員として間もない時期に全国からのボランティア、道具、寄付金など全国組織の力と見せつけられました。

全建総連の定期大会、日比谷での総決起大会、北海道・東北地方協議会の定期大会、国会議員要請など全国の皆様とも顔見知りになりました。

思いはたくさんありますが、組合員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、全建総連、岩手県連の益々のご発展をご祈念申し上げます。長い間ありがとうございました。

副会長



県南ブロック (一関)
高橋 元一

5期10年に渡って県連副会長を務めさせて頂き、役員、全組合のみなさんに支えられてここまで来ることが出来ました。今回の第63回岩手県連定期大会をもって退任いたします。次の方に役を渡し、新体制での岩手県連を頑張りたいです。

私は、東日本大震災ですべてを失った大工の方の「人生を諦めていた時に岩手県連からの支援の中に大工道具があり、それを手にした時に自分を取り戻し、大工を続けようと思った」と言う話を聞いた時、組合活動は組合員だけではなく周りの職人の役にも立っていると実感しました。この気持ちを胸に今後の組合活動にも進んでいきたいと思ひます。大変お世話になり、感謝申し上げます。

主婦の会
主通

職人は宝

長女の結婚、次男の子供が誕生、母の入院3回と昨年から忙しい年になりました。この中でも孫の誕生はとても嬉しい事です。

孫と離れて暮らしている、毎日の出来事を見る事は出来ませんが、次男の奥さんが動画を送ってくれるので、そばにいるようです。

お正月に我が家へ来た時は人見知りなされ、泣かれてしまいましたが、だんだん慣れて来て、赤ちゃん語で話しかけてくれました。その姿はとても可愛かったです。これからの孫の成長が楽しみです。

話は変わりますが、最近「人は誰でも老いる事からは避けられない」と

実感しています。昔は考えもしなかった私の母が、現在まさにこの状況です。母は何でも出来て、人一倍稼いで子供達を育て、多趣味で外に出る事が好きでした。しかし数年前から足腰が弱くなり、家の中にいる事が多くなってきました。今はデイサービスに通い、他の人やヘルパーさんのおしゃべりが楽しみとなっている母です。

【八幡平 主婦の会 遠藤 記】

2・3月行事予定

★2月	26日	27日
13日	第2回北東地協幹事会	中建国保 第341回理事会 (広島)
13日	第3回中央執行委員会 (東京)	27日
14日	岩手労働局交渉 (盛岡)	28日
21日	盛岡建設労働組合 定期大会 (盛岡)	中建国保 第130回通常組合会 (広島)
23日	北上建設組合 定期総会 (北上)	27日
23日	北東青協 第64回定期大会 (福島)	28日
4日	労働保険事務組合会議 (盛岡)	